

### 3歳児の造形活動の変容過程の分析

～幼児の相互作用関係が造形活動に及ぼす影響～

○井上紀子<sup>(1)</sup> 南部昌敏<sup>(2)</sup> 八木紘一郎<sup>(3)</sup>

(1)上越市立高田幼稚園 (2)上越教育大学 (3)白梅学園短期大学

キーワード：造形活動、相互作用関係、評価方法

#### 1. はじめに

これまでの幼児教育における造形活動に関する評価及び分析研究については経験に基づいた主観的な評価視点方法による研究が主であった。また、従来から、造形活動の評価は、造形活動のうちの描画活動の側面だけに限定しているものが一般的であった。しかし、本来、造形活動は「えがく」「つくる」「デザインする」活動が総合的にダイナミックに展開するものなので、本研では、描画の他に「つくる」造形活動を並行して評価分析する。さらに、従来の評価分析では、評価対象児一人ひとりの表現の変容に及ぼす対人関係の影響については除外されてきた。しかし、本研では、幼児の造形活動に関する評価分析は、対人との影響が及ぼす相互作用関係を無視できないという立場から、幼児どうしのソシオメトリーによる相互作用関係の変容についても扱った。この研究は、それらの評価視点と方法を開発しようとするものである。

なお、本研の「幼児の相互作用関係が造形活動に及ぼす影響」に関連する先行研究は見当たらない。

また、本研は、上越市T幼稚園の3歳児クラス19名のうち、女兒3名・男児3名、計6名を抽出した。抽出児の1年間(94年4月から95年2月)の造形活動を分析対象にした。

#### 2. 造形活動の評価視点及び個人プロフィールの記述方法の開発

##### (1) 描画活動の評価視点

対象児の描画力の変容過程を評価するために、別表(1)の評価基準(ローエンフェルドの発達段階論を1985に八木・海老原がアレンジ)をもとにして対象児の描画力の変容結果を評価した。4月の時点で別表(1)の発達段階表の高中低の各レベルにいる女兒と男児を各1人ずつ合計6人を抽出児にして追跡した(別表(2))。

##### (2) はさみの操作技能の評価視点

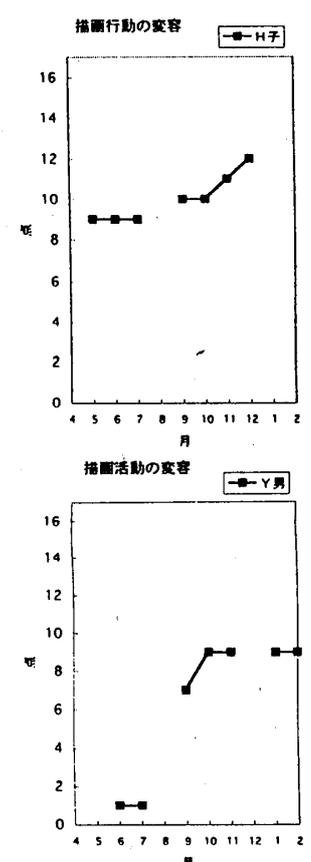
つくる活動の製作力は、素材による技法の違いからその製作力全般を評定することが困難である。本研では、製作活動の代表的な用具であるハサミの操作技能が製作技能の全般的傾向を反映していると考え、対象児のハサミ操作技能を評価分析した。手続きは、対象児に、図(1)のような指定用紙(直径9cmの円形を抜いた169cm<sup>2</sup>の画

紙)を定期的に切らせ、操作技能の変容を判定した。ハサミ技能の評定基準表は別表(3)、対象児のハサミ技能の変容結果は別表(4)である。

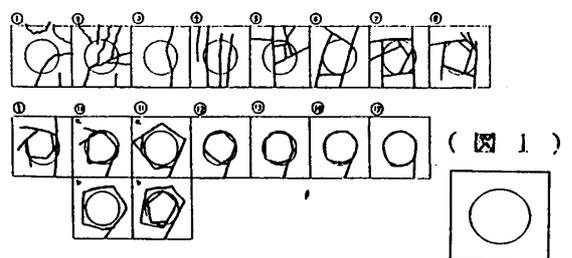
(別表1)

1	のたくり
2	すずき
3	の形(かこみ・かたまりの形)
4	二重のかこみ
5	かこみの形の中に階段のかこみの形
6	放射線
7	十字型表現のかこみ
8	顔是人
9	顔是人+台形
10	人型、台形のカタログ表現
11	高橋屋(台座と太陽)
12	高橋屋とカタログの組み合わせ
13	高橋屋上の系列カタログ
14	橋本堂製菓店表現
15	同時・同時表現表現
16	
17	

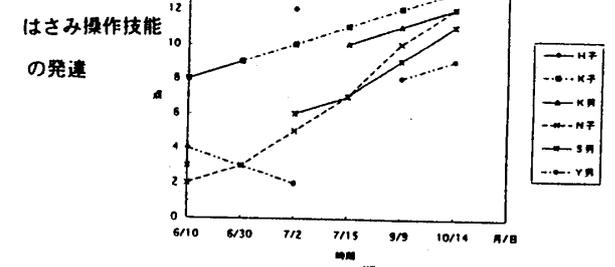
(別表2)



(別表3)



(別表4)



(3) 個人プロフィールの記述方法

対象児の「認知、技能・能力、意欲、興味、態度、心情、人間関係」の7つについて「環境、事実、解釈・判断、働きかけ」と合わせた個人プロフィールを定期的に記録。Y男を例示(別表(5))。

名前	Y男	7月19日(水)	観察・場所	働きかけ・観察点	評価
興味	教室内の壁にダンボールとどボールのラケット(丸)でこつた遊び具がたり入って遊んでいて	壁の上をたいて「行進」(1男)と書いてあるダンボールのついたてを両手開きしながら遊んでいた	遊び具をエレベーターに見たてている	エレベーターに見たてていることを無視してからの壁にのびのびと書いた線を見る	4
技能・能力	ほかの子が遊び具をもちこまると	「何だ?ハイジャンプだね」と数字をたまたま呼び入れる	自分一人で始めた遊びを友達にわかってほしい、お客になって来てほしい	ほかの子が遊び具をもちこまるとエレベーターに乗って遊ぶ	2
意欲	友達が遊び具を見に来た	走り回って「いちごっしゅいエレベーターだよ」と言う	友達がたくさん来ることを期待している	Y男とやりとりをすることで遊び力をほかの子とY男自身にわかっていく	6
興味	友達が遊び具を見てくれた	数字をたまたまエレベーターにお客をせたり降ろしたりするのをおもしろい	自分が中心で遊びを進めることができた	数字を降ろすのでお客をさせる	4
態度	友達が自分の遊び具に構わない	入きなでせたり、構ったりして自分に見せようとする	だんだん無気味になってきたと思われた	気持ちを落ちつかせ友達に話して聞かせるように言葉を調う	3
心情	おもしろい友達が遊びに来てくれた	友達が自分の遊び具に関心をもって一緒に遊んでくれた	自分の思いが実現し、友達と一緒に楽しく遊ぶことができた	朝日もしようねと声をかけて興わりした	4
人間関係	おもしろい友達が遊びに来てくれた	友達の真面に受け入れることができた相手とのやりとりが少ない	クラスみんなでY男のことを調べてやりたい	毎朝エレベーターでこつたのおもしろかったことY男のアイデアに拍手	3

3. 幼稚園における造形教育の実際

対象児クラスが1年間に実践した造形活動(系統的活動と自由遊びのもの)は別資料。

4. 幼児の相互作用関係と造形活動の変容過程の分析  
(1) 相互作用関係と描画行動

ソシオメトリーの相互関係図と個人プロフィールの記述内容をもとにして、描画行動の変容について考察する。

事例のY男は、ソシオメトリー(図2)で見ると親和的行動をとるにもかかわらず反発される傾向が目立つ。個人プロフィールでは、態度で自己中心的傾向が強く自分の意思どおりにならないと大声でどなったり怒るなど興奮気味になり、他者から関わりを拒否されることが目立つので関係性をもてる働きかけをして、友達と一緒に楽しく遊ぶことができる体験を積み重ねている。9月頃の描画行動における飛躍的変容は、遊び場面における他者との共感的な関わりの実現とY男自身の心情、認知、技能面とが相互作用的な影響を及ぼしていると推察される。

事例のH子の10月頃からの変容は、個人プロフィールによれば、紙の輪つなぎの作成をもとに仲間関係の広がりが見られた時期で、技能面がさらに共感的な関わりの実現をもたらした描画行動の変容の要因となっていると推察される。

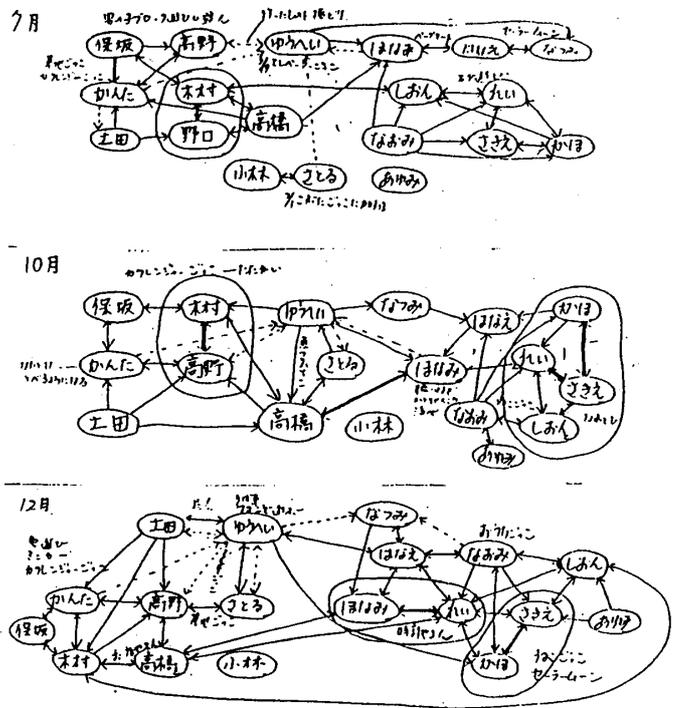
(2) 相互作用関係とはさみの操作技能

ソシオメトリーの相互関係図と個人プロフィールの

記述内容をもとにして、ハサミの操作技能の変容について考察する。

事例Y男では、他児への親和感から誘発されて他児の遊びや造形活動は活発になるタイプで、ハサミの操作技能は他児との相互作用関係で触発された活動によって習熟していると推察される。ハサミの操作技能の変容が他児との相互作用関係に誘発されていく傾向のタイプ。H子はハサミの操作技能が対象児の中でもっとも高いレベルにあり、その技能によって活発に展開される造形活動がさらに相互関係を濃密にしていくタイプ。幼児のソシオメトリック相互関係とハサミの操作技能とが相互に影響を及ぼしていることが認められる。

(図2)



5. 本研究の特色と今後の課題

幼児の造形活動の変容は、幼児個人の諸側面における相互作用関係、集団内における対人関係における相互作用関係とが影響を及ぼしていることが実証的に認められた。本研の研究手法による分析方法の開発が有効性があると思われる。しかし、本研が3歳児を対象に事例数もわずかであるので、今後も本研の方法による検証的な実践研究が必要である。

6. 参考文献

ハーバート・ブルマー、後藤祥之「ソシオメトリック相互作用論」勁草書房、1991